

第二十四回帝國議會 刑事訴訟法中改正法律案委員會會議錄(筆記)第一回

委員成立

明治四十一年三月廿六日議長ノ指名ヲ以テ本委員九名ヲ選定ス其ノ氏名左ノ如シ
磯部 四郎君 中西 六三郎君 宮古 啓三郎君
山村 豐次郎君 森田 卓爾君 大淵 龍太郎君
大戸 復三郎君 花井 卓藏君 石田 仁太郎君
明治四十一年三月廿六日午後二時十分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

山村 豐次郎君 宮古 啓三郎君 中西 六三郎君
森田 卓爾君 花井 卓藏君 大淵 龍太郎君
大戸 復三郎君 石田 仁太郎君

年長者大戸復三郎君投票管理者トナル

投票管理者大戸復三郎君 是ヨリ委員長理事ノ互選ヲ行ヒマス

森田卓爾君 投票ヲ用井ス花井卓藏君ヲ委員長ニ推薦シ理事ハ委員長ヨリ指名セラル、コトニ致シタイ

(贊成々々)ト呼フ者アリ

投票管理者大戸復三郎君 別段御異議ナイ様デスカラ森田君御發議通リ決シマス
委員長(花井卓藏君) 御推薦ニ依リ不肖委員長ノ 席ヲ汚シマス尙ホ引續キ會議ヲ開キマス

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣男爵 千家 尊福君

出席政府委員左ノ如シ

司法次官法學博士 河村讓三郎君

司法省參事官 豐島 直通君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

刑事訴訟法中改正法律案

委員長(花井卓藏君) 本案修正ノ趣意ハ二ツ丈ケデアロウト思ヒマス、一應政府委員ヨリ御説明ヲ乞ヒマス

政府委員(豐島直通君) 此案ヲ改正シマシタ趣意ハ只今上告ニ付テ大審院ニ於ケル實際ノ手續ハ趣意書ノ提出期間ヲ受命判事ノ報告書差出ノ時迄トシテ其後ニ提出シタモノハ裁判ヲ與ヘナイト云フコトニ爲テ居リマス、上告申立人並ニ相手方ハ甚ダ不便ヲ感シテ居リマスガ、此弊害ヲ除クノ趣旨デアリマス、即チ此案ニ於テハ上告趣意書ノ差出期間ニ猶豫ヲ與ヘル爲メニ上告申立書ノ提出丈ケテ訴訟記録ヲ大審院ニ送付スルコトニナリマス、次ニ趣意書ハ第一回ノ公判期日前少テ十日日前ニ提出セシメ、又第一回公判期日ハ上告裁判所ニ於テハ、第二百七十七條ニ依リマシテ、三十日前當事者及辯護士ニ通知スルコトニナリマス、裁判所側デモ、上告申立人

側デモ日數ガアルカラ、十分ニ熟考ヲ爲シ又裁判ヲスルニ十分ニ研究スルコトガ出來マス、從來ハ必ス受命判事ヲ設ケタノデアリマスガ、第二百二十八條デハ、趣意書ニモ答辯書ニモ、辯護士ノ署名アルコトヲ要スルコトニシマシタカラ、受命判事ヲ設ケテ其報告ヲ待ツテ、裁判スルト云フコトハ廢止シタノデアリマス、然ルニ貴族院ニ置キマシテハ此第二百八十二條ノ辯護士ノ署名ハ費用ヲ要スルカラ、重罪ノ如キモノハ格別、輕罪以下ハ辯護士ヲ必要トセスシテ、受命判事ヲ置イテ報告セシムルト云フノ制度ヲ復活スルコトニナリマシタ、ソレデ各期間ヲ五日ツツ延バスコトニナリマシタ

森田卓爾君 第二百七十七條ノ五日ヲ延バシタコトハ必要ヲカロウト思ヒマスガ

政府委員(豐島直通君) ソレハ第二百七十八條ノ十日ト云フ期間ヲ十五日前ト云フコトニシマシタカラ前ノ第七十七條ノ二十日ト云フノモ當然五日ヲ延バシテ二十五日前ト云フコトニナッタノデアリマス

森田卓爾君 此貴族院ノ修正ニ付テハ政府ハ御同意デアリマスガ

政府委員(豐島直通君) 政府ニ於テハ別段異議ハナイノデアリマス

委員長(花井卓藏君) 本案ニ付テハ尙ホ御質問モ御議論モアラウト思ヒマスガ、何分會期切迫ノ今日デスカラ筆記ヲ止メテ直ニ協議會トシテ充分御討論アラント望ミマス

(一此間協議ヲ爲ス)

委員長(花井卓藏君) 夫レデハ引續キ直ニ討議ニ係リマス

森田卓爾君 私ハ總テ政府案通リテ差支ナイト思ヒマス貴族院ノ修正ニハ全然反對致シマス

大淵龍太郎君 私ハ此場合貴族院修正通リ全部贊成致シマス

(一贊成々々)ト呼フ者アリ

委員長(花井卓藏君) 別段御議論ガナケレバ直ニ採決致シマス、貴族院修正通リト云フ大淵君ノ說ニ贊成ノ諸君ノ舉手ヲ願ヒマス

舉手者 多數

委員長(花井卓藏君) 多數デアリマス夫レデハ貴族院修正通リ決シマス是ニテ閉會致シマス

千時午後二時三十分

明治四十一年三月二十八日印刷

明治四十一年三月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局